

資料紹介

写真資料から見える会津の風景

— 小滝清次郎氏寄贈写真から —

大里正樹*・長島雄一**

要 旨：

今年度、当館に寄贈された会津の民俗行事・古民家・生業・石造物・年中行事等の紙焼き写真資料302点を整理、解説を付した一覧等を掲載。新収蔵資料をピックアップして紹介し、公開による今後の活用を図る。連動して、今後写真については当館の収蔵資料データベースでのweb公開を行う予定だが、本稿はそのインデックスや前提となる情報を掲載するものである。

また、これらの写真資料の撮影者として、登山家・写真家でもある小滝清次郎氏（南会津町在住）を取り上げる。小滝清次郎氏は会津坂下町に生まれ、若いころから趣味の登山とカメラに打ち込み、昭和36年にはさらに奥会津の自然や文化に触れるため、田島町（現南会津町）に転居、山行や撮影行を重ねた。小滝氏の長年の山村民俗の会・南会津山の会・日本山岳会などでの活動から著された『南山の道』をはじめとする数々の著作など、その研究のもつ意義を紹介する。共著者の長島からはとくに小滝氏による調査研究と不即不離の関係にある登山家としての側面を紹介する。

はじめに

今年度、当館へ南会津町在住の小滝清次郎氏が長年撮りためてきた写真・ネガ・ポジフィルム等が一括寄贈された。2020年8月に第一次分として寄贈された資料の総量は以下のとおりである。

- ・紙焼き写真プリント 372枚（※同構図の重複含む）
- ・紙焼き写真ベタ焼き・ネガ貼付台紙 56枚
- ・ネガアルバム 8冊
- ・FUJICOLOR SLIDE FILE 1冊（スライド200点）
- ・VHS（市町村別「奥会津の風景」） 8本

その後現在に至るまで、小滝氏自身の写真の選別作業と並行して、ネガアルバム20冊以上に及ぶ資料の寄贈が進行中であり、全容については現在資料整理を進めているところであるが、今回は寄贈の発端となった紙焼き写真302枚の資料について【表1】および図版にて全点を紹介する。これ等の資料群は、主に小滝氏が歩いた奥会津の山村に関するものが大多数を占める。小滝氏は本業の傍ら、登山家・写真家・民俗研究者としての調査行を重ねる中で大量に記録写真を撮影してきた。

本稿で紹介する写真群は、そうした大量の撮影フィルムの中から、撮影者である小滝氏自身が、後述

の『いろりばた』『あしなか』やその他自治体史等での紹介を前提として現像した紙焼き写真の集積であることから、奥会津の民俗や石造物に関する優れた記録写真資料といえることができる。

ここで紹介できるのは資料の全貌の内のごく一部とはいえ、当該資料には現在、過疎や開発等により廃村となった集落の景観や生活風景、廃絶した民俗行事や習俗、失われた民具・民家や道標・石仏等の石造物等々、歴史的・民俗的に優れた記録となっている。

本稿ではそうした写真資料の紹介と合わせて、前提として撮影者である小滝氏のこれまでの山行・調査行といった研究の来歴についても述べたい。本資料群は小滝氏のこうした来歴と密接不可分のものであり、これらの写真資料がどのような意図・問題意識から撮影されてきたのかをあわせて知ることで、より深く本資料群を理解することができると思われるためである。

なお、今後これらの写真資料については当館の収蔵資料データベースでのWeb上での公開を念頭に、整理を行う予定である。

次項では、小滝氏と旧知であり本資料の寄贈にあたって仲介の労をいただいた長島雄一氏により、登山家としての側面を中心として紹介する。（大里）

*福島県立博物館，**元・福島県立博物館

登山家としての小滝清次郎氏

小滝清次郎氏は、昭和2年3月9日、会津坂下町の明治時代から続く雑貨屋「元清（モトセイ）」の次男として生まれた。若松商業学校卒業後、中島飛行機に就職し終戦を迎えた。

小滝氏は我が国を代表する山岳雑誌『山と溪谷』81号（昭和18年）に掲載された川崎精雄氏の「南会津秋の峠越え」や川崎隆章氏の「会津朝日岳紀行」など、南会津の山々を描いた美しい紀行文に魅了され、次第に南会津という地域に惹かれていったという。そして終戦直後から南会津の山々に登り始める。（小滝氏の代表的な山行や調査記録および主たる活動の場であった南会津山の会（会報『いろりばた』）に関する動きについては【表2】の年譜も参照されたい。）昭和21年10月には会津駒ヶ岳～尾瀬～燧ヶ岳を訪れ群馬県沼田に抜けている。その後、登山路もまだない未踏の深山にも足を踏み入れ、その時の紀行文や写真を復刊された『山と溪谷』誌上等に投稿していった。

これらの記録の中でも、昭和24年の会津朝日岳登頂、さらに会津の最深部に位置し登山者憧れの山であった秘境丸山岳に只見町白沢から地元の山人2人と共に黒谷川支流の大幽東ノ沢を遡行し、途中でピバークしつつ登った昭和25年の山行記録などは先駆的記録として極めて貴重である。南会津におけるパイオニア的登山の先駆者の一人が小滝氏であった。『山と溪谷』に載った小滝氏の記録は以下の10本である。

- 131号（1950.04）「スケッチ 白澤より朝日岳を望む、小幽澤の下降路より見た朝日岳の全容、南會津朝日が岳略圖」
- 138号（1950.11）「スケッチ 男鹿岳略圖」
- 147号（1951.08）「グラフ 懐しの會津駒」
- 148号（1951.09）「記録 山上の秘境南會津丸山岳へ」
- 161号（1952.10）「秋山アンケート」
- 164号（1953.02）「スケッチ 南會津伊北村附近略圖」
- 195号（1955.09）「紀行 南會津 黒谷川遡行坪入山へ - 南會津の秘境」
- 216号（1957.10）「口絵 尾瀬ガ原俯瞰（至仏山より）」
- 258号（1960.10）「南會津の山々 新登路開拓をかねておこなわれた会津帝釈山脈縦断の記録」
- 445号（1975.10）「第2特集 南會津の山 奥會津の山と里」

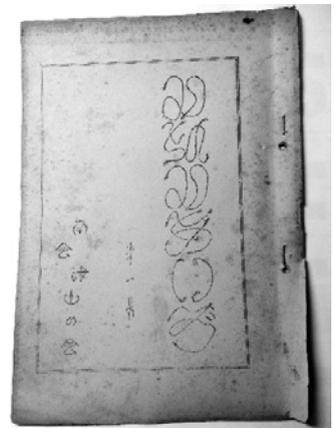
南會津山の会の設立と活動・『いろりばた』

戦前、会津若松には「会津山岳会」が存在してい

たが、戦後まもなく齋藤勝栄を会長として「会津山岳会」は復活する。創設には小滝・古市義孝氏も関わり、15人ほどの会員が所属していた。会報『会津山岳』も発行され、小滝氏らは会の事務局を務めた。両氏は、それぞれ田代山、男鹿岳・セツ岳の紀行文を同誌に投稿している。しかし諸般の事情が重なり、『会津山岳』の発行は昭和26年7月発行の3号で途絶え、会自体も自然解体のような状況となっていた。なお現在活動している会津山岳会（昭和33年設立）と、この会津山岳会は、同名ではあるが無関係である。

先述したように小滝氏は『山と溪谷』（ヤマケイ）などの中央の雑誌に山行記録等を発表する一方、地元会津に南會津の山を愛する人々独自の会を発足させるべく古市氏らと共に活動を開始する。

昭和32年、両氏は会津に転勤してきた目黒實氏と共に会設立のため本格的な活動を開始し、ついに昭和33年1月1日「南會津山の会」は誕生する。そして当時『山と溪谷』の編集長であった川崎隆章氏の協力を得て『山と溪谷』昭和33年1月号で参加者を募集し、川崎隆章氏をはじめ田村豊幸氏・佐藤光氏などの岳人が集まっていった。発足時の会員は14名。会は会長を置かず、会則も申し合わせ程度であった。活動も他の山岳会のように計画書を出し、希望者が参加して一緒に山に行くというようなものではなく、山歩きは各自行い、総会の時だけ顔を合わせるといった自由なものであった。会報は当初『みなみあいず』であったが、3号を経た後『いろりばた』に変わっている。



『みなみあいず』第1号表紙



南會津山の会第1回総会（田代山にて） 右端が小滝氏

南会津山の会は独自の考えをもってスタートした。創設の中心メンバー目黒實は記念すべき『みなみあはず』第1号の巻頭言に以下のように記している。

「いまだ未知の山河　さまよい歩きに
誘われゆく地　懐かしい南会津の山々を
本当に愛する人々が
藪をこぎ川をこぎ　きずだらけになりながら
静かな山麓の湯にひたる
又　山と共に生活している人々の
温かい心につゝまれ　山と里とを訪ねもとめる
こんな人達だけで　いろりを囲み
一夜を語り明かしたいと思う」

ここには単に山に登ることだけに止まらず、山あるいは山の周辺に暮らす人々や民俗・自然を愛し、語り合うこと。山に関係ある村や住民、山中に住み、あるいはそこで働いている人々の生活や心境なども含めた、山を囲む様々な有り様を大切にしたい、という強い思いが表れている。

一方、小滝氏は早くも昭和24年に、昭和13年に設立された「山村民俗の会」にも入会している。山村民俗への強い関心がそうさせたのであろう。

柳田国男や小暮理太郎に私淑して山や山麓の民俗を学んだ岩科小一郎はこの会を設立し長く会長を務めたが、岩科は著書『山の民俗』の「はしがき」で、「わたしたちの会は民俗の会と称しているが、発足当時の同人は全部登山家であった。現在三百人の会員の八割は登山家である。」と述べている。

登山家は山への行き帰りに、様々な山村の姿を目にし、耳にする。登山家は皆、山村やその民俗に出会っている。その意味においていわゆるヤマヤ（山屋＝登山家）と山村は密接・不可分の関係にある。柳田国男も日本山岳会の草創期からの会員であったし、同山岳会で度々講演も行い、また「山へ行く青年へ」『郷土研究』第2巻7号（大正3年）では、登山する若者に対して何か民俗的な研究材料をもってきてほしいと呼びかけている。

他の山岳関係のグループと比較しても、南会津山の会はそうした民俗への視点、人々との触れ合いをより重視し、楽しみ味わう精神を設立当初から強く持っていたと言えよう。そしてそれは会報『いろりばた』などに一貫して色濃く反映されることになった。

会の設立以降、小滝氏は年1～2回（昭和39年以降、春秋2回）行われた会の総会にほとんど毎回参加し、会の会計も務め、会報『いろりばた』にも写真を中心に投稿するなど、会のために力を注いだ。

会は会報『いろりばた』を定期的に発行していたが、特に昭和30～40年代は発行回数も多く、会員

の熱意が特に感じられる。小滝氏は自らが撮影した写真を毎回のように投稿し、また多くの写真を会に寄贈している。特に昭和41年の25号以降、終刊となった72号まで、口絵・表紙等を飾る味わい深い写真は『いろりばた』の常連となった。それらは「野の仏（シリーズ）」「道しるべ」「山村風景」「芸能」など、山そのものよりも民俗の風景を被写体としたものがほとんどを占めた。これは会発足時の設立の趣旨を実践したものと言える。『いろりばた』は72号まで、また会員通信的な『いろりばた通信』は58号まで発行されている。

この他に会は、川崎隆章氏の編集のもと、昭和36年に『会津の山々・尾瀬』を修道社から刊行した。小滝氏の紀行文も5本掲載されている。また昭和47年には山岳図書の専門店、茗溪堂から日本山岳会の副会長を務めた望月達夫氏の編集による『いろりばた』を刊行。これには会員30名が南会津の山々を謳いあげており、小滝氏の「南会津山の会設立の頃の思い出」と撮影した写真18枚が掲載された。昭和48年12月25日、会は「岳人」会報準優秀賞を受賞。昭和62年には『岩代国若松



昭和47年刊行の『いろりばた』

県第一大区全図』復刻版を出版。そして平成16年には再び茗溪堂から『続いろりばた』が刊行されている。これには小滝氏の民俗学的な論考「奥会津山中にある菊花紋の墓」そして氏撮影の10枚の写真が収められている。さらに会創立50周年を記念して出された『南会津』が平成20年に刊行されている。この本では小滝氏と共に会を創立した目黒實氏が「発足当初から特段のご尽力を頂いた小滝清次郎氏は創立に際し会の礎をつくれ、いつも心が宿る紀行文や美しい写真を会報ごとに多数寄稿される等会の推進役となりました。」と小滝氏に感謝の意を伝えている。佐藤光氏は『いろりばた』50号で「南会津山の会」の生みの親は何といても小滝さんである。」と述べているが、同時に小滝氏は、特に昭和の時代の会の「育ての親」でもあった。月日は流れ、小滝氏は86歳となった平成25年に退会している。

小滝氏の記録

『山と溪谷』が無名の人達の文章を載せる紙面を提供し発表の場としての受け皿になった功績は大きい。そして昭和33年、南会津山の会という新たな活

動・発表の場を作った小滝氏は、昭和36年初夏、ついに会津坂下町から田島町（現南会津町）に妻子とともに引っ越し、同町に元清洋品店を開業する。南会津に活動の拠点を移すためであった。この移住について小滝氏は「抑えられぬ奥会津への愛着から」と後に書いている（『南山の道』まえがき）。

『いろりばた』30・43号・60周年記念誌そして小滝氏の「山行記録」ノート等によれば、小滝氏は昭和17年8月の早坂峠（柳津）を皮切りに以下のような山や峠に登り、超えている。この中には複数回登った山や越えた峠も少なくない。また漏れているものもあるかと思われるが、現在まで知りえたものを以下に列挙する。

【登頂した南会津及び近隣の山】

丸山岳・男鹿岳・坪入山・高幽山・七ヶ岳・大嵐山・荒海山・会津駒ヶ岳・燧ヶ岳・三本槍岳・大白森山・小白森山・甲子山・浅草岳・中門岳・博士山・大杉岳・会津朝日岳・田代山・平ヶ岳・赤崩山・三岩山・大戸岳・明神ヶ岳・窓明山・高森山・岩藤山・家老岳・高畑山・門倉山・那須沢山・三仏沢山（計32座）

【越えた峠】

戸板峠・高畑峠・甲子峠・沼山峠・大津岐峠・大峠・小繫峠・小峠・唐沢峠・狭間峠・氷玉峠・転石峠・大内峠・早坂峠（太郎布と柳津の2つ）・駒止峠・保城峠・古檜峠・赤土峠・八幡峠・市野峠（計21峠）

文章による山行記録・民俗学的考察もさることながら、小滝氏の活動を物語る大きな特徴は数々の秀逸な写真である。山河の写真だけに止まらず、集落・民家・行事・習俗・祭と芸能、路傍の石仏・庚申塔・道しるべなどの石造物、文化財そして山村に生きる人々の何気ない素朴な表情など、小滝氏は様々なものにレンズを向けている。50ccのバイクを駆り、当時珍しかった大判カメラや35ミリのカメラ複数を持って、まだ未舗装の道ばかりの南会津を走って奥深い山・村・峠を訪ね歩いた。その写真の総数はネガも含めて相当な数にのぼる。現在、県立博物館において調査中である。今回は2020年夏、1回目に寄贈された紙焼き写真のうち302枚について、大里氏の整理により報告する。



こうした小滝氏の写『南山の道』表紙

真の集大成として結実したのが、昭和50年に刊行された写真集『南山の道 小滝清次郎写真作品集』（歴史春秋社刊）である。約30年通いつめた記録（写真）の中から選ばれた114枚が6項目に分けられて掲載されている。小滝氏は「まえがき」であふれんばかりの奥会津への愛情を記した後に、「変わりゆく奥会津の村の姿を今のうちに記録しておきたいという一念から、今まで写しとどめた写真の枚数もかなりの枚数に及んでいます。この一冊の本を通し、ともすれば忘れようとする奥会津の自然と、私達の祖先が守り伝えてきた芸能や、祭りへの郷愁を、呼びもどしていただければ幸せです。」と結んでいる。

これは南会津山の会の設立趣旨とまさに重なるものであって、会として、個人として、小滝氏はそれを体現してきたと言えるであろう。

中央の山岳界関係者との交流



ここまで見てきたように小滝氏は、地元の岳人だけでなく、日本山岳会の重鎮・中心メンバーと言われる人々とも交流を重ねてきた。南会津山の会の設立に関して、そして会刊行の『会津の山々・尾瀬』などに大きな役割を果たしたのが、当時藤島「山に忘れたパイプ」の草稿 『山と溪谷』編集長だった川崎隆章氏である。また登山家であり作家でもある川崎精雄氏（『雪山・藪山』『山をみる日』など）と親交を深めた。また日本山岳会副会長を務めた望月達夫氏、山村民俗にも造詣が深い山田哲郎氏、これも登山家で作家の藤島敏男氏、越後の山々を知り尽くし『越後の山旅（上・下巻）』などで知られる藤島玄氏など多くの著名な登山家の名前をあげることができる。時に田島の小滝氏宅は岳人らの宿・情報源となり、当然のことながら、こうした方々の著作にも小滝氏の名前は度々登場している。会津・福島の方々との交流は言うに及ばず、こうした中央の人々との交流が、会を支える大きな力となっていたのは間違いない。

一例を示しておく。小滝氏の手許には藤島敏男氏の名著『山に忘れたパイプ』に収められている同名の「山に忘れたパイプ」の草稿がある。これは藤島氏から小滝氏に贈られたものである。小滝氏の人柄

と両氏の緊密さを表すものであろう。また川崎精雄氏の色紙も何枚か残されている。また下の写真は七ツ岳山頂での記念写真である。

以上、ここまで登山家としての小滝氏について述べてきたが紙数も尽きた。限られた紙数でご紹介することは困難であった。小滝氏にはご寛恕を請うばかりである。
(長島)



七ヶ岳山頂で 左端：小滝氏 右奥：藤島敏男氏 右手前：川崎精雄氏

【参考文献】

- 小滝清次郎 1959「会津田代山」「会津駒ヶ岳」「南会津・七ツ岳」「南会津・朝日岳」『東北の山旅』山と溪谷社
- 小滝清次郎 1975『南山の道 小滝清次郎写真作品集』歴史春秋社
- 南会津山の会 1958～59『みなみあいず』第1～3号 南会津山の会
- 南会津山の会 1972『いろりばた』茗溪堂
- 南会津山の会 2004『続 いろりばた』茗溪堂
- 川崎隆章編 1961『会津の山々・尾瀬』修道社
- 南会津山の会 1987『岩代国若松県第一大区全図』南会津山の会
- 山田哲郎他 2008『南会津 南会津山の会創立50周年記念誌』南会津山の会
- 中村春二 1973『尾瀬・檜枝岐への山旅 明治三十三年度尾瀬・檜枝岐紀行記録』岩崎美術社
- 武田久吉 1930『尾瀬と鬼怒沼』梓書房
- 岩科小一郎 1977『山の民俗』ほるぷ
- 柳田国男 1914「山へ行く青年へ」『郷土研究』第2巻7号 郷土研究社
- 川崎隆章編 1943『尾瀬と檜枝岐』木耳社
- 畦地梅太郎・川崎隆章 1950『山上の楽園』初版本 山と溪谷社
- 藤島敏男 1976『山に忘れたパイプ』茗溪堂
- 川崎精雄他 1980『静かなる山』『続 静かなる山』茗溪堂
- 川崎精雄 1999『山を見る日』中央公論新社
- 川崎精雄 1969『雪山・藪山』芳文社
- 藤島玄 1985『越後の山旅』上巻 富士波出版社
- 藤島玄 1983『越後の山旅』下巻 富士波出版社
- 藤島玄 1971『わが越後の山』学生書房
- 成瀬岩雄 1986『山と峠と氷河 成瀬岩雄遺稿集』茗溪堂
- 山田哲郎・横山厚夫 1987『青空と輝く残雪の山々』茗溪堂
- 笠原藤七 1990『樺林 私の山旅』茗溪堂
- 佐藤勉 1985『我が南会津』現代旅行研究所
- 佐藤勉 2011『懐かしき南会津』歴史春秋社
- *なおその他、雑誌『山と溪谷』・『いろりばた』・『いろりばた通信』・『あしなか』については各号を参照した。

【表1】小滝清次郎氏撮影主要写真一覧

※1 写真の同定作業にあたっては、著者2名(大里・長島)が作業を行い、折に触れ小滝清次郎氏本人と佐々木長生氏のご助力を得た。記して感謝申し上げる。
 ※2 写真の撮影地や内容、撮影年月日に関する記事は、基本的に撮影者である小滝氏自身が写真に付したメモや本人からの聞き書きをもとに作成している。その他、著者2名(大里・長島)および協力者(佐々木長生氏)とで確認し判明した情報を補った。また、文献等に既掲載の写真については「備考」欄に掲載情報を記した。

資料番号	撮影地(市町村名)	撮影地(集落名)	内容	撮影年月日	備考	
1	F202000032	南会津町(旧田島町)	糸沢	竜福寺 本堂		
2	F202000033	南会津町(旧田島町)	糸沢	竜福寺「宜誘院殿鉄性風山大信士 霊位」(長沼大和守政明)位牌		『田島町史』5 p.477
3	F202000034	南会津町(旧田島町)	糸沢	竜福寺 愛染明王像		『南山の道』p.103
4	F202000035	南会津町(旧田島町)	糸沢	糸沢問屋(阿久津家)の婚礼 嫁ぎ先の家に入る花嫁を先導する男児女児、弓張提灯を持つ		
5	F202000036	南会津町(旧田島町)	糸沢	糸沢問屋(阿久津家)の婚礼 嫁ぎ先の家に入る花嫁		
6	F202000037	南会津町(旧田島町)	糸沢	糸沢問屋(阿久津家)の婚礼 嫁ぎ先の家に入る花嫁		
7	F202000038	南会津町(旧田島町)	糸沢	糸沢問屋(阿久津家)の婚礼 広間に着座した花嫁、後ろに嫁入り道具(箆笥2棹、ブラザーミシン、掃除機等)が並ぶ		
8	F202000039	南会津町(旧田島町)	糸沢	糸沢問屋(阿久津家)の婚礼 花嫁を迎えて両家の挨拶		
9	F202000040	南会津町(旧田島町)	糸沢	糸沢問屋(阿久津家)の婚礼 向かい合った両家の人々に茶が出される		
10	F202000041	南会津町(旧田島町)	糸沢	糸沢問屋(阿久津家)の婚礼 向かい合った両家の人々に茶が出される		
11	F202000042	南会津町(旧田島町)	糸沢	糸沢問屋(阿久津家)の婚礼 向かい合った両家の人々に茶が出される		
12	F202000043	南会津町(旧田島町)	糸沢	糸沢問屋(阿久津家)の婚礼 向かい合った両家の人々に茶が出される		
13	F202000044	南会津町(旧田島町)	糸沢	糸沢問屋(阿久津家)の婚礼 神職による神事		
14	F202000045	南会津町(旧田島町)	糸沢	糸沢問屋(阿久津家)の婚礼 神職の祝詞奏上		
15	F202000046	南会津町(旧田島町)	糸沢	糸沢問屋(阿久津家)の婚礼 神前での玉串奉奠		
16	F202000047	南会津町(旧田島町)	糸沢	糸沢問屋(阿久津家)の婚礼 神前での誓詞の読み上げ、後ろに雄蝶雌蝶役の男児女児が座る		
17	F202000048	南会津町(旧田島町)	糸沢	糸沢問屋(阿久津家)の婚礼 祝宴		
18	F202000049	南会津町(旧田島町)	糸沢	糸沢問屋(阿久津家)の婚礼 祝宴		
19	F202000050	南会津町(旧田島町)	糸沢	糸沢問屋(阿久津家)の婚礼 神棚、「大盃」「中盃」「初盃」の貼紙		
20	F202000051	南会津町(旧田島町)	糸沢	糸沢問屋(阿久津家)の婚礼 神棚、「大盃」「中盃」「初盃」の貼紙		
21	F202000052	南会津町(旧田島町)	糸沢今泉	今泉日光権現 彫刻		
22	F202000053	南会津町(旧田島町)	後原甲	慈恩寺 千手観音像		
23	F202000054	南会津町(旧田島町)	金井沢帯沢	ふだん着の女性たち		
24	F202000055	南会津町(旧田島町)	金井沢か	冬の水田と集落		
25	F202000056	南会津町(旧田島町)	栗生沢	山の神祭り 露天の店がある		
26	F202000057	南会津町(旧田島町)	栗生沢	栗生沢の三匹獅子舞(田島町の市街地にて)		
27	F202000058	南会津町(旧田島町)	栗生沢	栗生沢の三匹獅子舞(田島町の市街地にて)		
28	F202000059	南会津町(旧田島町)	栗生沢	栗生沢の獅子舞見物の女性たち		
29	F202000060	南会津町(旧田島町)	栗生沢	三匹獅子舞の元老たち	昭和37(1962)年8月	
30	F202000061	南会津町(旧田島町)	栗生沢	栗生沢の三匹獅子舞		『南山の道』p.55
31	F202000062	南会津町(旧田島町)	黒沢	黒沢庚申請		『田島町史』4 p.11
32	F202000063	南会津町(旧田島町)	高野	高野の三匹獅子舞	昭和44(1969)年9月4日	
33	F202000064	南会津町(旧田島町)	高野	農家入り口		
34	F202000065	南会津町(旧田島町)	高野	早春、民家の前の牛		
35	F202000066	南会津町(旧田島町)	高野	早春、民家の前の牛		
36	F202000067	南会津町(旧田島町)	高野	凍み餅作り		
37	F202000068	南会津町(旧田島町)	高野	高野の三匹獅子舞		
38	F202000069	南会津町(旧田島町)	高野	櫓やカンジキのおかれた冬の民家		
39	F202000070	南会津町(旧田島町)	高野	「立春大吉」の札と子ども用の箱積のある民家の玄関		
40	F202000071	南会津町(旧田島町)	高野	高野の三匹獅子 集合写真		
41	F202000072	南会津町(旧田島町)	高野	高野の三匹獅子舞 笛吹き		
42	F202000073	南会津町(旧田島町)	高野	雪囲い。民家の軒先と凍み餅・トウモロコシ		『南山の道』p.29
43	F202000074	南会津町(旧田島町)	高野	雪囲い。民家の軒先と凍み餅・トウモロコシ。入り口に犬がいる。		『南山の道』p.29
44	F202000075	南会津町(旧田島町)	高野	民家の入り口、紙垂をつけて水神を祀る、芋洗い棒も写る		
45	F202000076	南会津町(旧田島町)	高野	高野の三匹獅子舞		
46	F202000077	南会津町(旧田島町)	高野	高野の三匹獅子舞		
47	F202000078	南会津町(旧田島町)	高野浅布	節句のころ(船ヶ鼻峠みち最奥の集落 浅布)		1972『いろいろばた』p.88口絵16
48	F202000079	南会津町(旧田島町)	高野浅布	節句のころ(船ヶ鼻峠みち最奥の集落 浅布)		1972『いろいろばた』p.88口絵16
49	F202000080	南会津町(旧田島町)	高野浅布	「みぎはやま 左八金山谷 道」の道標(浅布集落の奥の船ヶ鼻峠道にて)		『いろいろばた』25号口絵、1972『いろいろばた』p.91口絵11
50	F202000081	南会津町(旧田島町)	高野浅布	「みぎはやま 左八金山谷 道」の道標(浅布集落の奥の船ヶ鼻峠道にて)		『いろいろばた』25号口絵、1972『いろいろばた』p.91口絵11
51	F202000082	南会津町(旧田島町)	高野浅布	「みぎはやま 左八金山谷 道」の道標(浅布集落の奥の船ヶ鼻峠道にて)		『いろいろばた』25号口絵、1972『いろいろばた』p.91口絵11
52	F202000083	南会津町(旧田島町)	高野浅布	「みぎはやま 左八金山谷 道」の道標(浅布集落の奥の船ヶ鼻峠道にて)		『いろいろばた』25号口絵、1972『いろいろばた』p.91口絵11
53	F202000084	南会津町(旧田島町)	高野浅布	浅布集落		
54	F202000085	南会津町(旧田島町)	高野浅布	浅布の春 集落遠景		
55	F202000086	南会津町(旧田島町)	高野浅布	浅布集落の民家		
56	F202000087	南会津町(旧田島町)	高野浅布	浅布集落の生活風景		
57	F202000088	南会津町(旧田島町)	高野浅布	キセルを吸う老農夫		
58	F202000089	南会津町(旧田島町)	高野浅布	浅布集落遠景		
59	F202000090	南会津町(旧田島町)	塩江	移築前の塩江染屋 五月幟	昭和51(1976)年6月4日	『続いろいろばた』p.222口絵18、『田島町史』4 p.11

写真資料から見える会津の風景
 - 小滝清次郎氏寄贈写真から -

資料番号	撮影地(市町村名)	撮影地(集落名)	内容	撮影年月日	備考
60	F202000091	南会津町(旧田島町)	塩江か	雪の中の民家	
61	F202000092	南会津町(旧田島町)	塩江五本松	五本松の旧道、弁財天石塔	
62	F202000093	南会津町(旧田島町)	七ヶ岳	七ヶ岳山頂での記念写真(右上 藤島敏男・右下 川崎精雄・一人おいて小滝清次郎)	
63	F202000094	南会津町(旧田島町)	清水川甲	SLがゆく 水無川鉄橋付近	『南山の道』p.32-33
64	F202000095	南会津町(旧田島町)	関本	早春の六地藏	『南山の道』p.87
65	F202000096	南会津町(旧田島町)	関本?	水田の畔塗りの様子	
66	F202000097	南会津町(旧田島町)	滝原	雪踏み俵の製作	『続いろりばた』p.224口絵20
67	F202000098	南会津町(旧田島町)	滝原	ゲンベイ作り	『南山の道』p.12
68	F202000099	南会津町(旧田島町)	滝原	ゲンベイ作り	『南山の道』p.12
69	F202000100	南会津町(旧田島町)	滝原	ゲンベイ作り	『南山の道』p.12
70	F202000101	南会津町(旧田島町)	滝原	ゲンベイ作り	『南山の道』p.12
71	F202000102	南会津町(旧田島町)	滝原	ゲンベイ作り	『南山の道』p.12
72	F202000103	南会津町(旧田島町)	滝原	ゲンベイ作り	『南山の道』p.12
73	F202000104	南会津町(旧田島町)	滝原	滝原集落の家並み	
74	F202000105	南会津町(旧田島町)	田島	集落の遠景	
75	F202000106	南会津町(旧田島町)	寺前	徳昌寺	
76	F202000107	南会津町(旧田島町)	藤生	藤生の道しるべ 右 針生 八十里みち 左 山(馬頭観世音石塔の台座部分アップ)	『いろりばた』26号口絵
77	F202000108	南会津町(旧田島町)	藤生	馬頭観世音石塔(台座に「右 針生 八十里みち 左 山」とある)	
78	F202000109	南会津町(旧田島町)	藤生	藤生集落の様子	
79	F202000110	南会津町(旧田島町)	藤生	民家の様子	
80	F202000111	南会津町(旧田島町)	藤生	藤生寺 阿弥陀如来像(焼失)	
81	F202000112	南会津町(旧田島町)	中荒井	「やまいち」の土蔵の飾り文字(屋号や家印などを付ける)	
82	F202000113	南会津町(旧田島町)	西町	しんごろう(佐藤耕四郎氏宅)	『続いろりばた』p.225口絵21
83	F202000114	南会津町(旧田島町)	西町	栗生沢の職人による太鼓胴の製作	
84	F202000115	南会津町(旧田島町)	羽塩	子どもたち	
85	F202000116	南会津町(旧田島町)	羽塩	早春の供養碑(道祖神等)	
86	F202000117	南会津町(旧田島町)	羽塩	女人講	
87	F202000118	南会津町(旧田島町)	羽塩	女人講	『南山の道』p.131
88	F202000119	南会津町(旧田島町)	羽塩	吊るし味噌作り	
89	F202000120	南会津町(旧田島町)	羽塩	吊るし味噌作り	
90	F202000121	南会津町(旧田島町)	羽塩	山村の子どもたち	昭和27(1952)年3月20日
91	F202000122	南会津町(旧田島町)	羽塩	新田小屋 渡部喜代兵さん夫妻と「亀さん」こと二瓶亀吉(シベリア抑留の帰還者)	昭和27(1952)年3月20日
92	F202000123	南会津町(旧田島町)	羽塩	雪中の六面地藏石幢	『南山の道』p.86
93	F202000124	南会津町(旧田島町)	針生	小正月のつちんば引き行事(出発前)	『田島町史』4 p.199(成木責め)と一連
94	F202000125	南会津町(旧田島町)	針生	小正月のつちんば引き行事(団子のゆで汁をまく)	『田島町史』4 p.199(成木責め)と一連
95	F202000126	南会津町(旧田島町)	針生	小正月のつちんば引き行事(団子のゆで汁をまく)	『田島町史』4 p.199(成木責め)と一連
96	F202000127	南会津町(旧田島町)	針生	小正月のつちんば引き行事(団子のゆで汁をまく)	『田島町史』4 p.199(成木責め)と一連
97	F202000128	南会津町(旧田島町)	針生	針生の小正月行事 田の神の訪問	『続いろりばた』p.221口絵17、『田島町史』4 p.181と一連
98	F202000129	南会津町(旧田島町)	針生	針生の小正月行事 田の神の訪問(田の神の犬天狗・小天狗)	『田島町史』4 p.181
99	F202000130	南会津町(旧田島町)	針生	針生の小正月行事 田の神の訪問(田の神の犬天狗・小天狗)	『田島町史』4 p.181と一連
100	F202000131	南会津町(旧田島町)	針生	雪国の朝	『いろりばた』31号、1972『いろりばた』p.40口絵8
101	F202000132	南会津町(旧田島町)	針生	屋根ふき	
102	F202000133	南会津町(旧田島町)	針生	屋根ふき	
103	F202000134	南会津町(旧田島町)	針生	冬の流れ	『南山の道』p.38、『いろりばた』31号口絵
104	F202000135	南会津町(旧田島町)	針生	正月の宝船(正月に配って歩いたもの)	『いろりばた』41号口絵
105	F202000136	南会津町(旧田島町)	針生	捨てびな 張り子の会津天神が奉納されている	
106	F202000137	南会津町(旧田島町)	針生	針生集落の家並み	
107	F202000138	南会津町(旧田島町)	福米沢	福米沢庚申請	
108	F202000139	南会津町(旧田島町)	福米沢	常楽院 保城木地屋奉納木製灯籠	『南山の道』p.54
109	F202000140	南会津町(旧田島町)	水無株木	婚礼行列の長持かつぎ	
110	F202000141	南会津町(旧田島町)	水無株木	婚礼行列の長持かつぎ	
111	F202000142	南会津町(旧田島町)	横町	横町庚申請	
112	F202000143	南会津町(旧田島町)	横町	横町庚申請	
113	F202000144	南会津町(旧田島町)	横町	横町庚申請	
114	F202000145	南会津町(旧田島町)	横町	横町庚申請	
115	F202000146	南会津町(旧田島町)	横町	「左 若松 湯殿山 道」道標※この「湯殿山」は実際には「白湯山」を指す	
116	F202000147	南会津町(旧田島町)	横町	「左 若松 湯殿山 道」道標。横町と栗生沢分かれにあった(盗難に遭い今はない)。写っていない部分には「右 小屋郷みち」とあった。小屋郷とは水無、栗生沢などの集落を指し、大萱峠を越し栃木県百村に至る間道、湯殿山は出羽三山の湯殿山ではなく那須の白湯山を指す。	
117	F202000148	南会津町(旧田島町)	丸山	田島 丸山公園道祖神への奉納物(穴の開いた石や椀を供え耳の病が治るよう祈る)	『田島町史』4 p.385
118	F202000149	南会津町(旧田島町)	丸山甲	旧南会津郡役所	
119	F202000150	南会津町(旧田島町)	宮本甲	田出宇賀神社 お当屋お千度 行列	

大里正樹・長島雄一

資料番号	撮影地(市町村名)	撮影地(集落名)	内容	撮影年月日	備考
120	F202000151	南会津町(旧田島町)	宮本甲 田出宇賀神社 お当屋お千度 行列	昭和50(1975)年1月15日	
121	F202000152	南会津町(旧田島町)	宮本甲 田出宇賀神社 お当屋お千度 記念集合写真	昭和50(1975)年1月15日	
122	F202000153	南会津町(旧田島町)	宮本甲 田出宇賀神社 太々神楽		
123	F202000154	南会津町(旧田島町)	宮本甲 田出宇賀神社 太々神楽		『南山の道』p.59
124	F202000155	南会津町(旧田島町)	不明 田島祇園祭 七行器行列		
125	F202000156	南会津町(旧田島町)	不明 田島祇園祭の七行器行列が神社へと向かう		
126	F202000157	南会津町(旧田島町)	不明 田島祇園祭の舞台歌舞伎(※長野県大鹿村から演者を呼んでいた)		
127	F202000158	南会津町(旧田島町)	不明 田島町の町内で撮影。栃むき・栃餅作りの様子		『いろりばた』40号口絵、『南山の道』p.9
128	F202000159	南会津町(旧田島町)か	不明 正月の神棚飾り		
129	F202000160	南会津町(旧田島町)か	不明 田出宇賀神社 牛頭天王の石祠?		
130	F202000161	南会津町(旧館岩村)	岩下 山村の子どもたち	昭和25(1950)年10月21日	
131	F202000162	南会津町(旧館岩村)	川衣 春の山村 川衣 左側の建物は川衣分教場 生徒15人位		
132	F202000163	南会津町(旧館岩村)	川衣 山里の春	昭和29(1954)年5月16日	
133	F202000164	南会津町(旧館岩村)	川衣 川衣の耕地と集落遠景	昭和29(1954)年5月16日	
134	F202000165	南会津町(旧館岩村)	川衣 山行時記念写真(川衣の橋新平氏一家と、右端小滝清次郎)	昭和29(1954)年5月16日	
135	F202000166	南会津町(旧館岩村)	川衣 ソラックチを担いだ女性(背中に細蓑、頭部には二幅手ぬぐいを着用)		『南山の道』p.2
136	F202000167	南会津町(旧館岩村)	川衣 ソラックチを担いだ男性(背中に荷背負蓑を着け、手に菅笠を持つ)	昭和29(1954)年5月17日	『会津の山々・尾瀬』口絵
137	F202000168	南会津町(旧館岩村)	塩ノ原 板木		『南山の道』p.19と同じ場所
138	F202000169	南会津町(旧館岩村)	木賊 木賊集落の家並み		
139	F202000170	南会津町(旧館岩村)	熨斗戸 廬中門造りの民家		
140	F202000171	南会津町(旧館岩村)	水引 前沢 小勝保男家?		『館岩村史』4 p.178掲載
141	F202000172	南会津町(旧館岩村)	水引 春祭りの頃		『南山の道』p.21
142	F202000173	南会津町(旧館岩村)	水引 廬中門造りの民家		『南山の道』p.27
143	F202000174	南会津町(旧館岩村)	森戸中林 虚空蔵堂罅口(福島県指定重要文化財)		
144	F202000175	南会津町(旧館岩村)	八総 八総 中山峠登り口の十一面観音石仏		
145	F202000176	南会津町(旧館岩村)	湯の花 唐沢峠みちの六地藏		
146	F202000177	南会津町(旧館岩村)	不明 廬中門造りの民家		
147	F202000178	南会津町(旧館岩村)	不明 田植えの様子		
148	F202000179	南会津町(旧館岩村)	不明 庚申塔の碑の前で畑をうなう農夫		
149	F202000180	南会津町(旧館岩村)	不明 田植えの頃(ガジ(苗を植えるための縦・横の筋を付けるための道具)を使う様子。奥には代掻き用とみられる小型の耕耘機(テラー・マメトラ等と呼ぶ)が写る)		
150	F202000181	南会津町(旧館岩村)	不明 田植え		
151	F202000182	南会津町(旧館岩村)	不明 井桁地藏		『南山の道』p.64、『いろりばた』40号口絵
152	F202000183	南会津町(旧館岩村)	不明 雪踏み俵で歩く子ども		
153	F202000184	南会津町(旧館岩村)	不明 雪踏み俵で歩く子ども		
154	F202000185	南会津町(旧伊南村)	小豆温泉 少し昔の小豆温泉		『続いろりばた』p.228口絵24
155	F202000186	南会津町(旧伊南村)	小豆温泉 小豆温泉の露天風呂		
156	F202000187	南会津町(旧伊南村)	小豆温泉 小豆温泉の露天風呂		
157	F202000188	南会津町(旧伊南村)	大桃 高畑峠みち入り口		
158	F202000189	南会津町(旧伊南村)	大桃 『飯豊山供養』石塔 台座に「右八ひのへ又道」とある		『いろりばた』38号口絵
159	F202000190	南会津町(旧伊南村)	大桃 大桃集落(左 地藏堂、中央 大川屋旅館)		
160	F202000191	南会津町(旧伊南村)	大桃 大桃集落にきた商店の移動販売車		
161	F202000192	南会津町(旧伊南村)	小塩 薬師堂奉納絵		
162	F202000193	南会津町(旧伊南村)	古町 善導寺 六地藏		『南山の道』p.66、『いろりばた』51号p.4口絵
163	F202000194	南会津町(旧伊南村)	不明 三岩岳		『山と溪谷』195号p.101
164	F202000195	南会津町(旧伊南村)	不明 三ツ岩と窓明山の鞍部にある田代		
165	F202000196	南会津町(旧伊南村)	不明 三ツ岩と窓明山の鞍部にある田代		
166	F202000197	南会津町(旧伊南村)	不明 冬の三ツ岩岳		
167	F202000198	南会津町(旧伊南村)	不明 早春の三ツ岩岳 高畑峠より三ツ岩岳を望む		1972『いろりばた』口絵4、『南山の道』p.115
168	F202000199	南会津町(旧南郷村)	大新田 大新田の六地藏(文化五辰八月銘)		『南山の道』p.74
169	F202000200	南会津町(旧南郷村)	大橋 田植え後の水田と民家		
170	F202000201	南会津町(旧南郷村)	鴉巢 冬の曲り屋		『南山の道』p.11上
171	F202000202	南会津町(旧南郷村)	鴉巢 曲り家		『南山の道』p.11上
172	F202000203	南会津町(旧南郷村)	鴉巢 南会津西部の曲り家		
173	F202000204	南会津町(旧南郷村)	山口 道標「左 田じま 若まつ 江戸 海道」		
174	F202000205	南会津町(旧南郷村)	不明 雪の集落		
175	F202000206	只見町	浅草岳 浅草岳の登山道より 沼ノ平	昭和27(1952)年5月13日	
176	F202000207	只見町	入叶津 ぜんまいもみ	昭和27(1952)年5月13日	
177	F202000208	只見町	入叶津 いろりばた、ランプのあるくらし(中野和夫氏宅、小滝清次郎・古市義孝ら)	昭和27(1952)年5月13日	
178	F202000209	只見町	入叶津 入叶津から浅草岳を望む	昭和27(1952)年5月13日	
179	F202000210	只見町	入叶津 仕事着の人々とツルカンジキ(中野和夫氏家族写真)	昭和27(1952)年5月13日	
180	F202000211	只見町	入叶津 山村の子どもたち(入叶津にて)	昭和27(1952)年5月13日	
181	F202000212	只見町	叶津中ノ平 仕事着の村人たちの集合写真	昭和27(1952)年5月13日	
182	F202000213	只見町	叶津中ノ平 中ノ平と浅草岳	昭和27(1952)年5月13日	
183	F202000214	只見町	銀山平 奥只見ダム建設前(水没前)の銀山平の只見川		
184	F202000215	只見町	銀山平 ダム水没前の浪拝温泉(左 小滝清次郎、右 古市義孝)	昭和29(1954)年8月22日	

写真資料から見える会津の風景
 - 小滝清次郎氏寄贈写真から -

	資料番号	撮影地(市町村名)	撮影地(集落名)	内容	撮影年月日	備考
185	F202000216	只見町	黒谷字白沢	白沢集落遠景		『山と溪谷』195号
186	F202000217	只見町	黒谷字白沢	ぜんまい小屋	昭和24(1949)年7月4日	
187	F202000218	只見町	黒谷字白沢	黒谷川廻行 坪入山へ	昭和28(1953)年5月15日	『山と溪谷』195号p.96、『南山の道』p.135
188	F202000219	只見町	小林	西の宮のお札のある神棚		
189	F202000220	只見町	小林	小林の獅子神楽		
190	F202000221	只見町	小林	小林の獅子神楽		
191	F202000222	只見町	小林	小林の獅子神楽		
192	F202000223	只見町	小林	小林の獅子神楽		
193	F202000224	只見町	小林	小林の早乙女踊りの行列		
194	F202000225	只見町	小林	小林の早乙女踊りの笛吹き		
195	F202000226	只見町	小林	小林の早乙女踊りの舞い手		
196	F202000227	只見町	小林	小林の早乙女踊り—舞い込んだ—		『続いろりばた』p.226口絵22、『いろりばた34号口絵
197	F202000228	只見町	小林	小林の早乙女踊り		
198	F202000229	只見町	小林	小林の早乙女踊り		
199	F202000230	只見町	小林	小林の早乙女踊り		
200	F202000231	只見町	小林	小林の早乙女踊り、小林青年団の「増収百万石」札		
201	F202000232	只見町	小林	増収百万石のお札をばって早乙女と神楽の訪れを待つ(旧1月14日)、「火の用心」の書初めは数え6歳の子が正月2日に書き親戚や近所に配る。正月棚に「爺とん婆」(高砂)の掛軸をかける。		『南山の道』p.17
202	F202000233	只見町	小林	またたびかごの寒ざらし		『南山の道』p.126
203	F202000234	只見町	小林	入り口に「天福自来」の文字のある民家		
204	F202000235	只見町	塩ノ岐	ぜんまいもみ		
205	F202000236	只見町	塩ノ岐	ぜんまいもみ		『南山の道』p.126
206	F202000237	只見町	塩ノ岐	八乙女の水田と民家		
207	F202000238	只見町	田子倉	ダム建設前の田子倉左越鼻(六十里峠みち)の隧道から只見川を望む	昭和25(1950)年10月22日	
208	F202000239	只見町	田子倉	水没前の田子倉集落	昭和25(1950)年10月22日	
209	F202000240	只見町	田子倉	水没前の田子倉集落の民家	昭和25(1950)年10月22日	
210	F202000241	只見町	田子倉	六十里峠道、田子倉の皆川さん(小滝氏の調査時、船で渡してくれた人)	昭和29(1954)年8月23日	
211	F202000242	只見町	毘沙沢	廃村前の毘沙沢集落	昭和48(1973)年5月	
212	F202000243	只見町	毘沙沢	ぜんまいもみ(廃村前の毘沙沢集落)	昭和48(1973)年5月	
213	F202000244	只見町	布沢	山里の春		『南山の道』p.6上
214	F202000245	只見町	宮淵	馬による運搬	昭和25(1950)年10月22日	
215	F202000246	只見町	宮淵	只見町宮淵の民家		
216	F202000247	只見町	不明	鬼ヶ面山(只見沢出合付近より)	昭和44(1969)年5月初旬	1972『いろりばた』p.43口絵3
217	F202000248	只見町	不明	会津朝日岳直下にて藤島敏男氏・望月達夫氏(森沢堅次撮影)	昭和46年(1971)5月3日	
218	F202000249	只見町か	不明	ぜんまいもみ		
219	F202000250	只見町か	不明	只見川のゴゴ渡し	昭和29(1954)年	『いろりばた』59号p.23
220	F202000251	只見町か	不明	ぜんまいもみ		
221	F202000252	下郷町	大内宿	秋の大内宿(右端 君島久行、君島勝利)	昭和34(1959)年10月20日	
222	F202000253	下郷町	大内宿	半夏祭り		
223	F202000254	下郷町	大内宿	半夏祭り		
224	F202000255	下郷町	大内宿	大内宿の街並みの様子	昭和34(1959)年10月	
225	F202000256	下郷町	大内宿	分かれの地藏、後ろの立ち木には山入りの注連縄がかけてある		
226	F202000257	下郷町	大松川	葬式の野送り	昭和46年(1971)6月26日	
227	F202000258	下郷町	大松川木令	「右 なら原 左 ながらさわ道」の道標のある街道		1972『いろりばた』口絵13、『いろりばた』39号口絵
228	F202000259	下郷町	音金	春の三倉 大倉山		1972『いろりばた』p.42口絵2、『南山の道』p.115
229	F202000260	下郷町	音金	三尊仏の石仏		
230	F202000261	下郷町	音金	三尊仏と双体道祖神、背景は那須赤崩山		
231	F202000262	下郷町	音金	音金より赤崩山を望む		
232	F202000263	下郷町	音金	音金集落と赤崩山		
233	F202000264	下郷町	音金	ちゃんばらごっこの子どもたち		『続いろりばた』p.223口絵19、『いろりばた』27号
234	F202000265	下郷町	音金中坪	野の仏(聖観音・如意輪観音石仏 ※現在は別の場所へ移設)		『いろりばた』27号、1972『いろりばた』p.92口絵12
235	F202000266	下郷町	倉村	庚申塔(青面金剛石仏)		『南山の道』p.96
236	F202000267	下郷町	桑取火	白湯山参拝のおこもり堂落書き		
237	F202000268	下郷町	沢田桃曾根	「右 なら原 左 田じま 道」の道標のある街道の風景		『いろりばた』37号p.1、『南山の道』p.92
238	F202000269	下郷町	沢田桃曾根	「右 なら原 左 田じま 道」の道標のある街道の風景		『いろりばた』37号p.1、『南山の道』p.92
239	F202000270	下郷町	沢田桃曾根	「右 なら原 左 田じま 道」の道標と石仏		『いろりばた』37号p.1、『南山の道』p.92
240	F202000271	下郷町	沢田桃曾根	お堂で遊ぶ子どもたち		
241	F202000272	下郷町	塩生	古峯神社石塔・東堂山石塔		
242	F202000273	下郷町	戸赤	赤土峠「右 戸石 若松 左 金山谷 道」の道標		
243	F202000274	下郷町	野際新田	野際嶽観音 おみくじ版木		
244	F202000275	下郷町	野際新田	野際嶽観音 絵馬版木		
245	F202000276	桧枝岐村	居平	桧枝岐歌舞伎		『南山の道』p.63
246	F202000277	桧枝岐村	居平	桧枝岐村の集落 屋根にコオニユリが咲く	昭和27(1952)年7月31日	
247	F202000278	桧枝岐村	居平	おんば様(橋場のぼんば)石像		

大里正樹・長島雄一

	資料番号	撮影地(市町村名)	撮影地(集落名)	内容	撮影年月日	備考
248	F202000279	桧枝岐村	居平	左側にぼったり小屋がある。ぼったり小屋でアワやキビ等の雑穀を搗く	昭和27(1952)年7月31日	
249	F202000280	桧枝岐村	嫁郷	コオニユリ咲く 出作り小屋		『いろりばた』49号、『南山の道』p.22
250	F202000281	桧枝岐村	葎ヶ平	板倉		『いろりばた』65号p.5、『南山の道』p.25
251	F202000282	桧枝岐村	不明	桧枝岐村入口付近(沼田街道)の板倉	昭和27(1952)年7月31日	『いろりばた』65号p.5、『会津の山々・尾瀬』口絵
252	F202000283	桧枝岐村	不明	桧枝岐村入口付近(沼田街道)の板倉	昭和27(1952)年7月31日	『いろりばた』65号p.5、『会津の山々・尾瀬』口絵
253	F202000284	桧枝岐村	不明	桧枝岐村入口付近(沼田街道)の板倉	昭和27(1952)年7月31日	『いろりばた』65号p.5、『会津の山々・尾瀬』口絵
254	F202000285	桧枝岐村	不明	桧枝岐村 集落の入り口付近	昭和27(1952)年7月31日	
255	F202000286	桧枝岐村	不明	桧枝岐村(集落の入り口付近) 右側に板倉が数戸建っているのが見える	昭和23(1948)年7月	
256	F202000287	桧枝岐村	不明	会津駒ヶ岳のブナへの切り付け「理十六才 大津岐ヨリー人サビシク村ニカヘル」。理さんは桧枝岐歌舞伎の座長をやった人(今は故人となる)		『南山の道』p.138
257	F202000288	昭和村	大芦	大芦の六地藏石仏		
258	F202000289	昭和村	大芦	大芦の六地藏石仏、「オミトジョー」(機で織った布の端部分)がかけてある		『南山の道』p.82
259	F202000290	昭和村	小野川	双体道祖神		
260	F202000291	昭和村	小野川	双体道祖神(安永2年巳5月吉日銘)		
261	F202000292	昭和村	佐倉	双体道祖神と庚申塔		
262	F202000293	昭和村	両原	不動堂奉納絵		『南山の道』p.50
263	F202000294	昭和村	両原	男女の神像		
264	F202000295	昭和村?	両原?	不動堂か		
265	F202000296	金山町	小栗山	双体道祖神(安永3年午9月吉日銘)今は別の場所に移した		『いろりばた』39号口絵
266	F202000297	金山町	三条	三条集落の暮らし(民家の軒先にカンジキ・ミノなどがある、男女が山袴姿で作業している)		『南山の道』p.25
267	F202000298	金山町	玉梨	玉梨温泉・大黒屋	昭和27(1952)年10月18日	『会津の山々・尾瀬』口絵
268	F202000299	金山町	玉梨	玉梨温泉・大黒屋の露天風呂	昭和27(1952)年10月18日	
269	F202000300	金山町	沼沢	沼沢湖	昭和27(1952)年10月18日	
270	F202000301	金山町	山入	山入集落の民家		
271	F202000302	金山町	山入石塚	山入集落の風景(道路が真新しいアスファルト舗装となっている)		
272	F202000303	柳津町	大成沢	農家の「にわ」(鈴木哲一氏宅)	昭和41(1966)年5月	『いろりばた』25号口絵、1972『いろりばた』p.46口絵6
273	F202000304	柳津町	大成沢	登山仲間との集合写真(鈴木哲一氏宅にて)	昭和41(1966)年5月	
274	F202000305	三島町	西方	只見線SL	昭和31(1956)年2月21日	
275	F202000306	会津美里町(旧会津高田町)	東尾岐宮南乙(太平)	手拭の鉢巻をし、背中に荷背負囊を着けた男性		
276	F202000307	西会津町	滝坂	湯殿山塔		
277	F202000308	天栄村	湯本	南会津山の会第2回総会 大丸屋旅館にて	昭和35(1960)年10月22日	
278	F202000309	神奈川県茅ヶ崎市	小和田本宿郷	茅ヶ崎市の道祖神「昭和36年正月14日 小和田本宿郷」と前面刻む		
279	F202000310	不明(会津西部)	—	新墓		
280	F202000311	不明(会津西部)	—	新墓の卒塔婆(いわゆる七宝塔婆で、「為春岳妙壽信女」、一七日～七七日にそれぞれ「南無宝勝如来・南無多宝如来・南無妙色身如来・南無広博身如来・南無難怖畏如来・南無甘露王如来・南無阿弥陀如来」の文字がある)		
281	F202000312	不明	—	稲荷の石祠(天保4年銘の木札、手前に藁製の供物の容器)		
282	F202000313	不明	—	犬と子どもたち		
283	F202000314	不明	—	ゴゼンタチバナ		
284	F202000315	不明	—	作業時の休憩写真		
285	F202000316	不明	—	三尊石仏(観音と地藏2体)		
286	F202000317	不明	—	地藏尊石仏		『いろりばた』61号
287	F202000318	不明	—	集落風景(昭和43(1968)年福島県知事選挙のポスターあり)	昭和43(1968)年	
288	F202000319	不明	—	初冬の村落風景		
289	F202000320	不明	—	水田の畔塗りをする女性		
290	F202000321	不明	—	水田の畔塗りをする女性		
291	F202000322	不明	—	炭焼き		『いろりばた』71号
292	F202000323	不明	—	只見川		
293	F202000324	不明	—	棚田		
294	F202000325	不明	—	道祖神の小祠		
295	F202000326	不明	—	東堂山石碑前の男児		
296	F202000327	不明	—	東堂山石碑前の男児		
297	F202000328	不明	—	登山仲間との集合写真(左より田村豊幸・佐藤利右衛門・小滝清次郎・星力)		
298	F202000329	不明	—	堀割 平野太四郎		
299	F202000330	不明	—	雪の積もった集落の道を歩く男性		
300	F202000331	不明	—	雪の中の集落遠景		
301	F202000332	不明	—	雪の中の弁財天石碑		
302	F202000333	不明	—	雪の中の民家		

写真資料から見える会津の風景
 - 小滝清次郎氏寄贈写真から -

【表2】小滝清次郎氏年譜

西暦	和暦	年齢	主な出来事	紀行文・投稿文・写真関係(小滝執筆分)	会報『いろいろばた』・『いろいろばた通信』(号)	南会津山の会総会	
1943	昭和	18	16	この年刊行の『山と溪谷』81号に掲載された川崎精雄氏の「南会津秋の峠越え」や川崎隆章氏の「会津朝日岳紀行」などの名文に魅了される。これが南会津に惹かれるきっかけとなる。			
1944	昭和	19	17				
1945	昭和	20	18	戦時中、中島飛行機で働く。終戦。			
1946	昭和	21	19	男鹿岳に登る。10月、H君と尾瀬を初めて訪れる(『いろいろばた』33号)。			
1947	昭和	22	20				
1948	昭和	23	21				
1949	昭和	24	22	12月、山村民俗の会に入会。小滝と古市「会津山岳」に投稿。古市「男鹿岳登山、セツ岳」。小滝「田代山紀行」には松戸原には旅芝居の幡がひるがえっていたの記述あり。			
1950	昭和	25	23	7月、佐藤光らと丸山岳へ。「会津山岳」3号に紀行文「丸山岳へ登る」。	「スケッチ 白澤より朝日岳を望む、小幽澤の下降路より見た朝日岳の全容、南会津朝日が岳略圖」『山と溪谷』131号 「山村の冬と春」『あしなな』18集 「採集帖5(南会津朝日村)」『山村民俗の会 会報』18号 「スケッチ 男鹿岳略圖」『山と溪谷』138号 「採集帖(南会津朝日村)」『山村民俗の会 会報』18号		
1951	昭和	26	24	「山村の正月行事(南会津の山村を中心として)」『あしなな』21集 7月25日「会津山岳」3号(=最終号)7月25日刊行。編集は小滝・古市。 「グラフ 懐しの會津駒」『山と溪谷』147号 「記録 山上の秘境南会津丸山岳へ」『山と溪谷』148号			
1952	昭和	27	25		「秋山アンケート」『山と溪谷』161号		
1953	昭和	28	26		「スケッチ 南会津伊北村附近略圖」『山と溪谷』164号 「田子倉の「コモツツエ」と「オトコ」」『あしなな』34集		
1954	昭和	29	27	8月21日から古市氏と奥会津銀山平を歩く			
1955	昭和	30	28		「紀行 南会津 黒谷川遊行坪入山へ--南会津の秘境」『山と溪谷』195号		
1956	昭和	31	29		「冬の山村雑記」『登山全書随想編第2巻』(河出書房)		
1957	昭和	32	30	目黒と小滝氏、夏に初めて小滝氏の自宅で会う。会の創設について議論。	「『早苗振り』と『おんべ』(※「福島だより」特集のうち)」『あしなな』56集 口絵 尾瀬が原俯瞰(至仏山より)『山と溪谷』216号		
1958	昭和	33	31	1月1日、南会津山の会設立。	会員14人で発足。	「みなみあいず」1号(3月中旬?) 「みなみあいず」2号(6月10日刊行)	第1回記念総会 7月: 田代山 小田代小屋
1959	昭和	34	32	「いろいろばた」第1号刊行。	「みなみあいず」3号刊行(8月5日)。南会津山の会刊行。 「いろいろばた」第1号刊行(9月15日)。12月16日「いろいろばた」第2号刊行。 「秋の総会報告記(第2回)湯ノ花」『いろいろばた』2号 「会津田代山」『東北の山旅』(山と溪谷社)など執筆。	「みなみあいず」3号(8月5日) 「いろいろばた」1・2号刊行。	第2回 10月 湯の花温泉 清滝
1960	昭和	35	33		2月16日「いろいろばた」第3号刊行。 紀行文「木賊温泉より高畑峠へ」『いろいろばた』6号 「二岐温泉秋の総会報告」『いろいろばた』8号 「戸板峠」『いろいろばた』9号	3・4・5・6・7・8	10月 二岐温泉 大丸屋
1961	昭和	36	34	田島に移住。元清洋品店を経営。	「保城峠と高杖原」『執筆者紹介』『あしなな』74集 「会津峠」『いろいろばた』10号 川崎隆章編「会津の山々・尾瀬」(修道社)刊行。小滝「栗生沢より男鹿岳」執筆	9・10・11・12	8月 会津の山々・尾瀬 出版記念総会 桜枝岐 丸屋
1962	昭和	37	35		昭和37~39年、会の会計を務める。	13・14・15	8月 尾瀬裏麓 御池小屋
1963	昭和	38	36		「まぼろし」『あしなな』84集 「現地報告」『いろいろばた』16号	16	10月 三斗小屋温泉 煙草屋
1964	昭和	39	37		「戸板峠」『いろいろばた』18号	17・18・19・20	5月 入叶津 中野宅 9月 新甲子温泉 五峰荘
1965	昭和	40	38		「奥会津の民俗芸能」『あしなな』97集	21・22	5月 只見黒谷 倉田屋・朝日岳 9月 木賊温泉 井筒屋
1966	昭和	41	39		「現地ニュース」『いろいろばた』24号 「口絵写真 野の仏(一) 庚申塔1」「農家のにわ」『いろいろばた』25号 「口絵写真 野の仏(二) 隠れキリシタン(?)の墓」『いろいろばた』26号	23・24・25・26	5月 西山温泉 博士山 10月 二岐温泉 大丸屋
1967	昭和	42	40		「口絵写真 野の仏(三)」『いろいろばた』27号 「口絵写真 凍豆腐」『いろいろばた』27号 「口絵写真 青面金剛(二) 庚申塔二題」『いろいろばた』28号 「口絵写真 夕陽 道しるべ」『いろいろばた』29号 小滝氏から会へ写真寄贈の記事 28・29号にそれぞれ100枚。『いろいろばた』29号 「口絵写真 野の仏: 六地藏 野の仏: 合掌地藏」『いろいろばた』30号 「南会津山の会」設立の頃の思い出『いろいろばた』30号 佐藤光「丸山岳のこと」『いろいろばた』30号。*昭和25年7月10~14日。白沢から小滝氏を含めて4人で登った山行記録(「会津山岳」3号)に記載あり。	27・28・29・30	8月 会津駒ヶ岳 駒の小屋 10月 針生 住吉屋
1968	昭和	43	41		「南会津だより」『あしなな』110集 「口絵写真 冬の山村」『いろいろばた』31号 小滝、会に写真150枚寄贈の記事『いろいろばた』31号 「冬の山村三題 (一) 針生にて (二) 雪道を行く (三) 黒沢森の流れ」『いろいろばた』31号 「口絵写真 奥会津の芸能-田島・祇園祭・屋台歌舞伎」『いろいろばた』33号 「私と尾瀬 南会津山旅の第一歩」『いろいろばた』33号 「口絵写真 奥会津の芸能(三) 小林早乙女踊り」『いろいろばた』34号 「口絵写真 奥会津の芸能(四) 田出宇賀神社大々神楽」『いろいろばた』35号	31・32・33・34・35	43春: 玉梨温泉 恵比寿屋 43秋 創立10周年記念総会: 尾瀬 温泉小屋
1969	昭和	44	42		「口絵写真 奥会津の芸能(四) 栗生沢三匹獅子」『いろいろばた』36号 「奥会津近況」『いろいろばた』36号	36	3月 東京地区例会に出席。 44春: 湯の花温泉 清滝 44秋: 滝ノ原 三滝館

大里正樹・長島雄一

西暦	和暦	年齢	主な出来事	紀行文・投稿文・写真関係(小滝執筆分)	会報『いろいろばた』・『いろいろばた通信』(号)	南会津山の会総会
1970	昭和	45	43	「口絵写真 道しるべ(1)」[夕陽の那須連峰「赤崩山」]「いろいろばた」37号 「口絵写真 道しるべ(2)」「いろいろばた」38号 山田哲郎「平ヶ岳紀行」で小滝氏と二人で登山の記事。「いろいろばた」38号 「口絵写真 道しるべ(3)」[道祖神]。「いろいろばた」39号	37・38・39	45春：入叶津 中野和夫氏宅 45秋：二岐温泉 大丸屋
1971	昭和	46	44	「口絵写真 野の仏 井桁地蔵尊」[残照の会津駒山頂]「とちのみ割り」「いろいろばた」40号 「表紙写真 いろいろばた(針生にて)」[口絵写真 正月の藁の宝船]「微笑弥勒」「いろいろばた」41号 ※41号から小滝氏の写真が表紙を飾り、南会津の風俗・風景を紹介する。	40・41	46春：桧枝岐 ひのえまた 46秋：只見 皆川文弥氏宅
1972	昭和	47	45	「いろいろばた」茗溪堂から出版。小滝「南会津山の会の頃の思い出」、写真18枚掲載される。 「口絵写真 野の仏 六面地蔵」[ふねのある「にわ」]「しんごろう」「いろいろばた」42号 「現地ニュース」「いろいろばた」42号 「口絵写真 吊し味噌」[野の仏]「樺の観音」[庚申塔]「いろいろばた」43号 「現地ニュース」「いろいろばた」43号	42・43	47春：湖南町舟津太田屋 47秋 いろいろばた出版記念総会：大内部落 大黒屋
1973	昭和	48	46	12月25日 南会津山の会は「岳人」会報準優秀賞受賞 「表紙写真 農家の庭」[口絵写真 大内宿]「野の仏」「いろいろばた」44号 「表紙写真 干し大根作り」[口絵写真 倉谷宿]「野の仏 糸沢弥勒仏」「いろいろばた」45号 「地元だより」「いろいろばた」45号 「口絵写真 野の仏 晩秋の弥勒仏」[大沢部落]「いろいろばた」46号	44・45・46	48春：湯西川 清水屋 48秋：二岐温泉 大丸屋
1974	昭和	49	47	「口絵写真 野の仏 源聖童子」「いろいろばた」47号 「口絵写真 野の仏 昭和小野川双体道祖神」「いろいろばた」48号	47・48	49春：金山湯倉温泉 鶴亀荘 49秋：日中温泉 湯本屋
1975	昭和	50	48	2月20日「南山の道 小滝清次郎写真作品集」歴史春秋社より刊行。 「会員新著 小滝清次郎著「南山の道」』『あしなな』145集 「第2特集 南会津の山」[奥会津の山と里]「山と渓谷」445号 「表紙写真 三條部落と民家」[口絵写真 コオニュー咲く出作り小屋]「野の仏 滝沢不動尊」「いろいろばた」49号 「口絵写真 野の仏 伊南 青柳地蔵尊」「いろいろばた」50号 渡辺正雄「いろいろばた五十号史」 目黒美「創立の思い出」 佐藤光「会津山岳」と「みなみあいず」との間「いろいろばた」50号 「口絵写真 野の仏 古町善道寺六地蔵」「いろいろばた」51号 貝森「南山の道」譜」 「いろいろばた」51号 「口絵写真 野の仏 音金部落と赤崩山」「いろいろばた」52号	49・50・51・52	50春：休石温泉 三森荘 50秋：早戸温泉 鶴の湯
1976	昭和	51	49	「奥会津の庚申塔」[「山鉦」報告 福島県]「あしなな」150集 「口絵写真 春の荒海山」「いろいろばた」53号 「(写真)野の仏 両原双体道祖神」「いろいろばた」54号	53・54	51春：湯の花温泉 石の湯 51秋：宮下温泉 ホテル栄光
1977	昭和	52	50	「(写真)金山町山入磨崖仏」「いろいろばた」55号 「52年春の総会写真」「いろいろばた」56号	55・56	52冬：東京地区会に参加。 52春：古町 亀屋旅館 52秋：松沢温泉 松沢荘
1978	昭和	53	51	『田島町史』第4巻民俗編の刊行に協力 「口絵写真 田の神の訪問」「いろいろばた」57号	57・58	53春：猪苗代町樋ノ口 志賀屋 53秋20周年記念総会：二岐温泉 大丸荘
1979	昭和	54	52	「(写真)南会津山の会第一回総会」[木地小屋]、「奥会津中にある菊花紋の墓」被写体として「入叶津の中野さんとヒゲの重作さん」[浪拝温泉にて]「只見川のカゴ渡し(昭和29年)」「いろいろばた」59号	59	54春：大塩温泉小西屋旅館 54秋：桧枝岐 丸屋旅館
1980	昭和	55	53	「口絵写真 高森四体仏(柳津町)」[小豆温泉露(野)天風呂]「いろいろばた」61号	60・61	55春：会津坂下津尻温泉滝ノ湯 翌日、西会津の石仏撮影 55秋：山口 山口屋
1981	昭和	56	54		62	56春：只見町塩沢 民宿いわぶち 56秋：高杖原 錦屋
1982	昭和	57	55		なし	57春：西山温泉「智仁荘」 57秋：福島市 微温湯温泉
1983	昭和	58	56		63	58春 針生「四方山荘」翌日、入小屋の木地師の墓調査 58秋 二股温泉 大丸あすなろ荘 翌日、天栄村板小屋の木地師集落を見る
1984	昭和	59	57	「口絵写真 桧枝岐の板倉(1)(2)」[那須沢山中腹より水無川水源の山やま]「船ヶ鼻山」、P37に「三倉・大倉山」、P81に「峠の石仏」「いろいろばた」65号	64・65	59春 西会津野沢 旅館十一塩屋 秋：福島市野地温泉相模屋
1985	昭和	60	58	「表紙写真」「いろいろばた」66号	66	春：金山町 玉梨温泉恵比寿屋旅館 秋：長沼町 滝の湯旅館
1986	昭和	61	59	「写真 白樺牧場」「いろいろばた」67号	67	春：湯の花温泉 清滝 秋：桧枝岐村 丸屋
1987	昭和	62	60	「岩代国若松県第一大区全図(復刻版)」刊行。南会津山の会編。創立30周年事業。	68	62春 30周年記念総会 大丸あすなろ荘 秋：湯の花温泉 清滝
1988	昭和	63	61		69 / 「会員だより いろいろばた」第1・2号発行	春：只見町 民宿温泉田子倉 秋：金山町 沼沢湖山荘
1989	平成	元	62	「口絵写真 山村の子供たち」「いろいろばた」70号	70 / 「いろいろばた通信」第3号	春：猪苗代町押立温泉 さぎの湯 秋：舘岩村 木賊温泉民宿福本屋
1990	平成	2	63		「いろいろばた通信」第4号	春：那須町 北温泉旅館 秋：下郷町 湯野上温泉 星乃井
1991	平成	3	64	「炭焼き(写真)」[古市義孝氏逝去]「いろいろばた」71号	71 / 「いろいろばた通信」第5・6号	春：西会津町 横屋旅館 秋：天栄村 湯本温泉湯口屋旅館
1992	平成	4	65		「いろいろばた通信」第7・8号	春：北茨城市 民宿益谷 秋：下郷町 宿坊 柿の坊

写真資料から見える会津の風景
 - 小滝清次郎氏寄贈写真から -

西暦	和暦	年齢	主な出来事	紀行文・投稿文・写真関係(小滝執筆分)	会報『いろりばた』・『いろりばた通信』(号)	南会津山の会総会
1993	平成	5	66	「あしなか通信」『あしなか』231集 「(写真)大泉寺の六地藏」「冬の保存食作り」。紀行「奥会津の山の神像」「いろりばた」72号(創立35周年記念号)	72(会報ここで打ち止め)	春:天栄村 大丸あすなろ荘 秋:伊南村 民宿りす
1994	平成	6	67	「あしなか通信」『あしなか』235集		春:昭和村 昭和温泉しらかば荘 秋:塩原町 ますぶち旅館
1995	平成	7	68		『いろりばた通信』第9号	春:小野町 小野温泉太田屋 秋:会津坂下町 松林園
1996	平成	8	69	「あしなか通信」『あしなか』245集	『いろりばた通信』第10・11号	春:柳津町 西山温泉 旅館中の湯 秋:西郷村 甲子温泉 旅館大黒屋
1997	平成	9	70		『いろりばた通信』第12・13号	春:会津若松市 芦ノ牧温泉 仙峡閣 秋:舘岩村 小豆温泉 花木の宿
1998	平成	10	71	「あしなか通信」『あしなか』250集	『いろりばた通信』第14・15号	春:宮城県川崎町 青根温泉 湯元不忘閣 秋:40周年記念総会 大丸あすなろ荘
1999	平成	11	72		『いろりばた通信』第16・17号	春:新潟県湯之谷村 駒の湯山荘 秋:伊南村 亀屋旅館
2000	平成	12	73	「あしなか通信」『あしなか』254集	『いろりばた通信』第18号	春:二本松市 岳温泉 扇屋 秋:舘岩村 木賊温泉 旅館湯ノ上
2001	平成	13	74	「あしなか通信」『あしなか』257号	『いろりばた通信』第19・20号	春:新潟県三川町 三川温泉 旅館東宝 小滝:この総会を最後に欠席。 秋:山形県小国町 泡の湯温泉 三好荘
2002	平成	14	75	「あしなか通信」『あしなか』261号	『いろりばた通信』第21・22号	
2003	平成	15	76		『いろりばた通信』第23・24号	
2004	平成	16	77	『続・いろりばた』茗溪堂より刊行。「奥会津山中にある菊花紋の墓」、写真10枚掲載。	『いろりばた通信』第25・26号	『続いろりばた』出版記念総会 会津若松 ウェルサンピア会津
2005	平成	17	78		『いろりばた通信』第27・28・29・30号	
2006	平成	18	79		『いろりばた通信』第31・32・33・34号	
2007	平成	19	80		『いろりばた通信』第35・36・37・38号	
2008	平成	20	81		『いろりばた通信』第39号	50周年記念総会 大丸あすなろ荘
2009	平成	21	82	「宮崎さんと南会津」『あしなか』286集	『いろりばた通信』第40・40の2号・41・41の2号・42号	
2010	平成	22	83		『いろりばた通信』第42号の2・43・44号	
2011	平成	23	84		『いろりばた通信』第45・46号	
2012	平成	24	85		『いろりばた通信』第47号	
2013	平成	25	86	南会津山の会を退会。	『いろりばた通信』第48・49号	
2014	平成	26	87		『いろりばた通信』第50・51号	
2015	平成	27	88		『いろりばた通信』第52・53号	
2016	平成	28	89		『いろりばた通信』第54・55号	
2017	平成	29	90	「あしなか通信」『あしなか』310号	『いろりばた通信』第56・57号	
2018	平成	30	91	「あしなか通信」『あしなか』312号	『いろりばた通信』第58・59号	
2019	令和	1	92			
2020	令和	2	93			
2021	令和	3	94			

写真資料から見える会津の風景
-小滝清次郎氏寄贈写真から-



F202000100



F202000257



F202000035



F202000183



F202000127



F202000289



F202000032



F202000033



F202000034



F202000036



F202000037



F202000038



F202000039



F202000040



F202000041



F202000042



F202000043



F202000044



F202000045



F202000046



F202000047



F202000048



F202000049



F202000050



F202000051



F202000052

写真資料から見える会津の風景
-小滝清次郎氏寄贈写真から-



F202000053



F202000054



F202000055



F202000056



F202000057



F202000058



F202000059



F202000060



F202000061



F202000062



F202000063



F202000064



F202000065



F202000066



F202000067



F202000068



F202000069



F202000070



F202000071



F202000072



F202000073



F202000074



F202000075



F202000076



F202000077



F202000078



F202000079



F202000080



F202000081



F202000082



F202000083



F202000084



F202000085



F202000086



F202000087



F20200088



F20200089



F20200090



F20200091



F20200092



F20200093



F20200094



F20200095



F20200096



F20200097



F20200098



F20200099



F20200101



F20200102



F20200103



F20200104



F20200105



F20200106



F20200107



F20200108



F20200109



F20200110



F20200111



F20200112



F20200113



F20200114



F20200115



F20200116



F20200117



F20200118



F20200119



F20200120



F20200121



F20200122



F20200123

写真資料から見える会津の風景
-小滝清次郎氏寄贈写真から-



F202000124



F202000125



F202000126



F202000128



F202000129



F202000130



F202000131



F202000132



F202000133



F202000134



F202000135



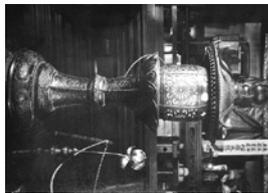
F202000136



F202000137



F202000138



F202000139



F202000140



F202000141



F202000142



F202000143



F202000144



F202000145



F202000146



F202000147



F202000148



F202000149



F202000150



F202000151



F202000152



F202000153



F202000154



F202000155



F202000156



F202000157



F202000158



F202000159



F202000160



F202000161



F202000162



F202000163



F202000164



F202000165



F202000166



F202000167



F202000168



F202000169



F202000170



F202000171



F202000172



F202000173



F202000174



F202000175



F202000176



F202000177



F202000178



F202000179



F202000180



F202000181



F202000182



F202000184



F202000185



F202000186



F202000187



F202000188



F202000189



F202000190



F202000191



F202000192



F202000193



F202000194



F202000195

写真資料から見える会津の風景
-小滝清次郎氏寄贈写真から-



F202000196



F202000197



F202000198



F202000199



F202000200



F202000201



F202000202



F202000203



F202000204



F202000205



F202000206



F202000207



F202000208



F202000209



F202000210



F202000211



F202000212



F202000213



F202000214



F202000215



F202000216



F202000217



F202000218



F202000219



F202000220



F202000221



F202000222



F202000223



F202000224



F202000225



F202000226



F202000227



F202000228



F202000229



F202000230



F202000231



F202000232



F202000233



F202000234



F202000235



F202000236



F202000237



F202000238



F202000239



F202000240



F202000241



F202000242



F202000243



F202000244



F202000245



F202000246



F202000247



F202000248



F202000249



F202000250



F202000251



F202000252



F202000253



F202000254



F202000255



F202000256



F202000258



F202000259



F202000260



F202000261



F202000262



F202000263



F202000264



F202000265



F202000266

写真資料から見える会津の風景
-小滝清次郎氏寄贈写真から-



F202000267



F202000268



F202000269



F202000270



F202000271



F202000272



F202000273



F202000274



F202000275



F202000276



F202000277



F202000278



F202000279



F202000280



F202000281



F202000282



F202000283



F202000284



F202000285



F202000286



F202000287



F202000288



F202000290



F202000291



F202000292



F202000293



F202000294



F202000295



F202000296



F202000297



F202000298



F202000299



F202000300



F202000301



F202000302



F202000303



F202000304



F202000305



F202000306



F202000307



F202000308



F202000309



F202000310



F202000311



F202000312



F202000313



F202000314



F202000315



F202000316



F202000317



F202000318



F202000319



F202000320



F202000321



F202000322



F202000323



F202000324



F202000325



F202000326



F202000327



F202000328



F202000329



F202000330



F202000331



F202000332



F202000333